

調査問題には、これからの社会を豊かに生きていくために必要な力が示されています。(その例を紹介します。)

小学校算数 ◎日常生活の事象を数理的に捉え判断する

問題 はるとさんたちは、遊園地のお店で限定商品を買います。次の予定に間に合うよう、3時までレジに着くことができるでしょうか。

はるとさん

4ポール分進むのに8分間かかったということは、1ポール分進むのに2分かかるんだね。残り10ポール分だから3時までにはレジに着きそうだね。

残り 33分間

あかりさん

レジにいる店員さんが減っちゃった。今度は3ポール分進むのに9分間かかったよ。残り7ポール分だと、3時までレジに着けるかな？

残り 24分間

正答例 $9 \div 3 = 3$ で、1ポール分には3分間かかります。残り7ポール分なので、 $3 \times 7 = 21$ で、21分間かかります。だから3時までレジに着くことができます。

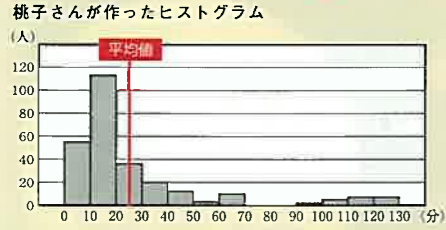
中学校数学 ◎分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する

1日あたりの読書時間について、表とグラフにまとめました。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いと言えそうだね。



でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとは言えないのではないかな…。

資料の傾向を示す方法には代表値、表、グラフがあります。その場に適したもので示すことが大切です。

問題 航平さんの考えが適切でない理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

正答例 1日の平均読書時間である26分は山の頂上の位置にないので、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えは適切ではない。

富士市の子どもたちは ○: よいところ ▲: 課題

- 一つの資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
- ▲ 複数の資料の中から、目的に応じて取り出したり、関連付けて考えたりすることが苦手である。

このように力を育てていきます。

- 一つの資料からは判断できないような場面を設定する。
- 収集した資料を表、式、グラフに表すことにより整理し、その場に適した方法を見つけ処理する能力を育む。
- 算数や数学の用語を正しく使って説明する活動を大切にする。

中学校英語 ◎即興でやり取りをする

「話すこと」調査は、コンピュータを使用し、自分の答えを録音する方式で行いました。この問題の解答時間は20秒間でした。

問題 あなたは、ユイコとアラン先生と話しています。まず、ユイコとアラン先生が、2人で話している場面から始まります。そのあと、あなたが尋ねられたら、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じてください。

アラン: Look at this picture of my family.
This is my favorite picture.
ユイコ: Nice! Who is she?
アラン: Oh, she is my mother, Nancy.
And he is my brother, Tom.
He can cook very well.
ユイコ: I see. What kind of work does your mother do?
アラン: She is a teacher.



アラン先生: Do you have any other questions about them?

正答例 What kind of food does your brother cook?

富士市の子どもたちは ○: よいところ ▲: 課題

- ALTと関わる機会が多いので、「英語を使ってみよう」という意欲が高い。
- ▲ 会話の内容を踏まえた上で、質問したり答えたりしながら会話を続けることが苦手である。

このように力を育てていきます。

- 「目的」「場面」「状況」を明確にし、自分の思いや考えを英語で伝え合う活動を大切にする。
- 小学校3年生からの外国語活動を通して、知っている英語を使って主体的にコミュニケーションを図る態度を育む。

問われているのは、**的確に情報を捉え、自分の考えをつくり、表現していく**ことです。

小学校国語 ◎表や調べたことなどの情報を、根拠として複数取り上げ、報告文にふさわしい表現で書く

解答の下書きの例 (推敲後の文は正答例)

こいつはなぜ、
が、時に、
で、に、ら、
き、に、必、
に、り、
す、る、た、
か、り、電、
ら、で、す、
き、ん、急、
の、時、に、
も、使、
う、

(1) 高橋さんがまとめた表
公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

(1)の表を一言でまとめた言葉に置き換えた方が分かりやすいかな。

(2) 高橋さんのまとめた文

公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか
●警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができる。
●停電のときでも、硬貨を使って通話することができる。
●電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、**きん急のときにも使うことができる**ということが分かりました。

[中学校国語]の調査では、推敲(すいこう)する力を問う問題が、出題されています。相手を意識して表現を工夫することが大切です。

富士市の子どもたちは ○: よいところ ▲: 課題

- 書くことに抵抗がなくなり、自分の考えを書こうとすることができる。
- ▲ 複数の情報を関連させて自分の考えをつくったり、情報を捉え条件に合わせて書いたりすることが苦手である。

このように力を育てていきます。

- たくさんの情報の中から、「似ていること」「違うこと」を見つけ、それを基に自分の考えをつくれるようにする。
- 意味を理解して使える言葉を増やす。
- 要点をまとめ、短い文章で書けるようにする。

問題 高橋さんは、公衆電話の必要性について調べました。調査の結果、公衆電話はわたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。その理由を次の条件に合わせて、報告文にまとめます。
(条件) ○(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
○報告する文章にふさわしい表現で書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。